サイバー犯罪被害に係る企業・団体を対象としたアンケート調査結果及び対策

過去１年以内に受けたことのある被害

ランサムウェア被害が倍増

	R2	
1位	メール不正中継	12.8%
2位	ランサムウェア	11.9%
3位	情報流出	6.4%

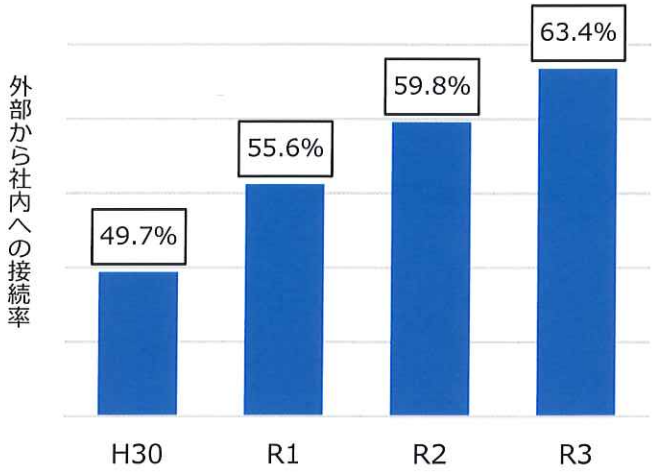
※ 被害を受けた団体における割合

	R3	
1位	**ランサムウェア**	**22.1%**
2位	メール不正中継	15.8%
3位	情報流出	12.6%

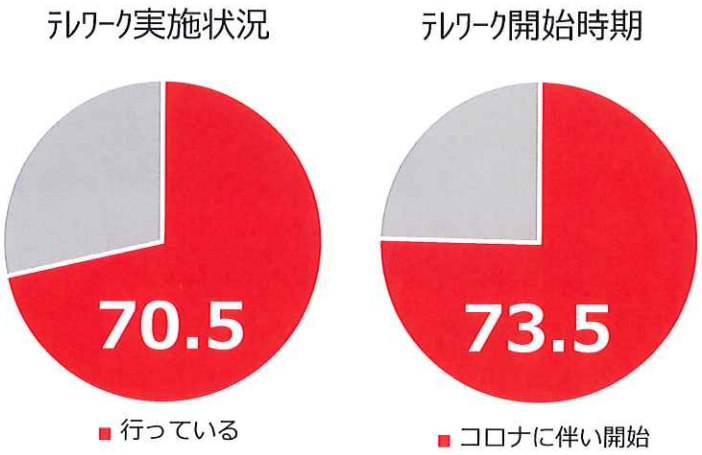
※ ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭を要求する不正プログラム

外部から社内への接続・テレワーク

業務上の外部からの接続が急増



新型コロナ拡大による開始は７割以上

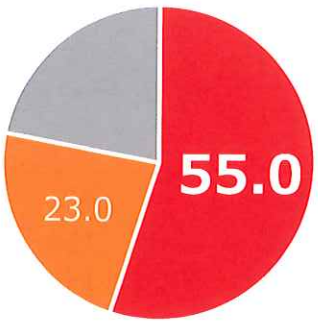


セキュリティ対策

VPNの導入が増加

	H30	R1	R2	R3
1位	ファイヤーウォール	IDパスワード	IDパスワード	IDパスワード
2位	IDパスワード	ファイヤーウォール	ファイヤーウォール	ファイヤーウォール
3位	Proxyサーバ	Proxyサーバ	**VPNの利用**	**VPNの利用**

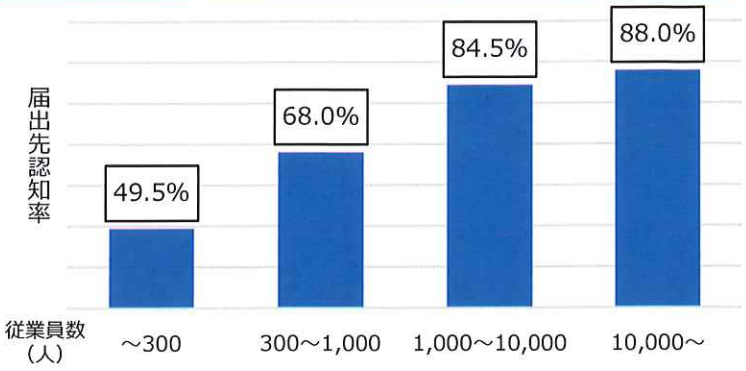
ランサム感染経路は半数以上がVPN



「令和３年上半期サイバー空間脅威情勢」（警察庁）抜粋

被害発生時の届出先の認知状況等

中小企業の認知率が低い



最も多い届出先は「警察」

1位 警察

2位　情報処理推進機構

3位　監督官庁

被害に遭わないために

OSなどの脆弱性対策

OSやアプリケーションソフト、VPN機器などに脆弱性があると
マルウェアに感染したりネットワークに侵入されるおそれがあります。

- **OS・ソフトウェアの更新**
- **ウイルス対策ソフトの更新**
- **ネットワーク機器ソフトウェアの更新**

認証情報の適切な管理

VPN機器やリモート・デスクトップ・サービスなどの認証パスワードが
脆弱な場合、ネットワークに侵入されるおそれがあります。

- **パスワード長は一定以上に**
- **異動で使わなくなったIDは削除**
- **IDを複数ユーザで共有しない**

⚠被害に遭ってしまったら 警察へ通報

より詳しい被害防止対策は警察庁「ランサムウェア被害防止対策ページ」→
https://www.npa.go.jp/cyber/ransom/index.html

警察庁 National Police Agency

都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口はこちら →
https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.html